

議 事 録

会 議 名	山陽小野田市環境審議会	
開 催 日 時	令和5年10月18日(水) 午後2時～午後4時10分	
開 催 場 所	山陽小野田市厚狭地区複合施設 2階 第1研修室	
出 席 者	中尾勝實会長、大野龍昌副会長、芳原達也委員、竹永満委員、三上真人委員、今井剛委員、竹森靖委員、堀川順生委員、大塚達輝委員、町田佳男委員、野村正文委員、荒牧利丈委員、深町英司委員、西村克之委員、山下孝雄委員	
欠 席 者	藤村嘉彦副会長、大森弘文委員、岡本洋委員、内藤美恵子委員、大田洋行委員、国丸洋委員、福永正和委員、田辺讓治委員	委員数 23人 出席者数 15人 欠席者数 8人
事 務 局 等	市長 藤田剛二(途中退席)、市民部長 岩佐清彦、環境課長 山本満康、環境課主幹 湯淺隆、環境課環境保全係長 河村倫裕、環境課環境保全係 佐々木和哉、藤岡美奈	
会 議 次 第	1 辞令交付 2 市長あいさつ 3 事務局紹介 4 会議開催確認 5 会長及び副会長選出 6 議事 報告事項 (1) 研究棟建設に伴う環境保全対策(田辺三菱製薬工場(株) 小野田工場) (2) 2次電池用正極材料生産実証設備の導入に伴う環境保全対策(戸田工業(株) 小野田事業所) (3) パラニトロフェノールソーダの増産に伴う環境保全対策(大阪新薬(株)) (4) 農薬原体新プラント新設(日産化学(株) 小野田工場) (5) 2次電池用正極材料生産設備Y工場新設(戸田工業(株) 小野田事業所) (6) エポキシ樹脂工場増設に伴う環境保全対策(日本化薬(株) 厚狭工場) 7 その他 (1) 山陽小野田市環境審議会技術専門委員会委員名簿 (2) 「山陽小野田市の環境」のお知らせ	
議 事 内 容	報告事項 (1) 研究棟建設に伴う環境保全対策について、田辺三菱製薬工場(株) 小野田工場より説明。 ●質疑応答 【委員】	

研究棟はすでに完成し使用しているのか。

【田辺三菱製薬工場(株) 小野田工場】

その通りである。

【委員】

環境保全委員会を毎月1回開催しているとあり、多いと感じるが、負担にはならないか。

【田辺三菱製薬工場(株) 小野田工場】

負担にはなっていない。

【委員】

地球温暖化対策について何か配慮したことはあるか。

【田辺三菱製薬工場(株) 小野田工場】

省エネ関係、あるいは設備の導入にあたっては環境に配慮したものを設置している。

【委員】

照明はすべてLEDか。

【田辺三菱製薬工場(株) 小野田工場】

その通りである。

【委員】

バイオセーフティー対策について、研究棟内で感染者は出たか。

【田辺三菱製薬工場(株) 小野田工場】

感染者は出していない。

(2) 2次電池用正極材料生産実証設備の導入に伴う環境保全対策について、戸田工業(株) 小野田事業所 (BASF 戸田バッテリーマテリアルズ合同会社 (以下、BTBM) 小野田事業所) より説明。

●質疑応答

【委員】

敷地境界線における騒音・振動レベルについて、表の「現状」と「計画後」は全く同じ数値が書かれているが、これは何を意味するのか。

【戸田工業(株) 小野田事業所・BTBM 小野田事業所】

設備は敷地中央あたりの屋内にあり、敷地境界線の騒音や振動レベルに影響しないため、同じ値となっている。数値は事前に計算している。「現状」とは設備設置前、「計画後」は設置後を意味している。

【委員】

令和3年に使用開始しているが、実際に測定はしているか。

【戸田工業(株) 小野田事業所・BTBM 小野田事業所】

年1回、市環境課立会いのもと計測している。

【委員】

産業廃棄物は定期的に処理状況をチェックとあるが、どのように行っているか。

【戸田工業(株) 小野田事業所・BTBM 小野田事業所】

コロナ禍で実施できない時期もあったが、2年に1回現場確認を行っている。

(5) 2次電池用正極材料生産設備Y工場新設について、戸田工業(株) 小野田事業所より説明。

●質疑応答

【委員】

地球温暖化対策について、「単位生産当たり」の消費電力を6%改善とあり大変すばらしいが、工場全体で見ると何%くらいか。ほか「単位生産当たり」となっていないので両方示されていればよいと思ったが、分けている意図があるのか。

【戸田工業(株) 小野田事業所・BTBM 小野田事業所】

戸田工業とBASFの生産品目全体での消費電力量は把握できていないため、あくまで正極材料一式を作るのに何kw必要かという原単位ベースとしている。

【委員】

環境保全の運用について、ISO-14001に基づいて行うとあるが、現段階では設備ができ

ていないので ISO-14001 に組み込まれていないということか。

【戸田工業株 小野田事業所・BTBM 小野田事業所】

設備ができていない部分は想定で対応している。

【委員】

設備ができた際には ISO-14001 に基づいて戸田工業株と進めていくとなると、連携の仕方が難しいのではないか。

【戸田工業株 小野田事業所・BTBM 小野田事業所】

過去は戸田工業株のもので ISO-14001 に基づいて行っていたが、現在は戸田工業株と BTBM は別で ISO-14001 を取得して活動している。BTBM 独自でやっていくが、同じ敷地内で活動しているので、協議しながら連携し進めていきたい。

【委員】

報告事項（２）と（５）の関係性を確認したい。製造方法には（２）の場合ニッケル・コバルト・マンガン酸リチウムの中間体製造とあり、（５）の場合はニッケル・コバルト・アルミニウム酸リチウムの製造と記されているが、どういう流れになっているのか。（２）で実証実験を行い、その結果を踏まえて（５）の設備ができたということか。

【戸田工業株 小野田事業所・BTBM 小野田事業所】

（２）の小型の設備で実証実験を行い、スケールアップしたものを（５）の Y 工場に導入している。マンガン酸リチウムやアルミニウム酸リチウムは、対象とする顧客によって変わる。

【委員】

製造ケース 1 のマンガン酸リチウムもゆくゆくは製造するということか。

【戸田工業株 小野田事業所・BTBM 小野田事業所】

その可能性はある。

（３）パラニトロフェノールソーダの増産に伴う環境保全対策について、大阪新薬株より説明。

●質疑応答

【委員】

増設により、No. 1 排水口の排水はきれいになるのに対し、No. 3 排水口はBODが高くなるなど見込まれている。排出水量全体のうちのNo. 1 とNo. 3 の割合はどのようになっているか。

【大阪新薬株】

No. 1 は工業廃水を放流し、No. 3 は雨水や一般排水、浄化槽で処理された水が含まれているため、数値が高くなっている。

【委員】

現状から高くなっているのはなぜか。生活排水が増えるということは雇用者が増えるなどの要因があるのか。

【大阪新薬株】

確認し、市を通じて後日回答する。

【委員】

増設後のばいじん排出量が  $0.3\text{g/N m}^3$  と高い数値になっているが単位の誤りではないか。

【大阪新薬株】

カタログ値を参照している。カタログを持ち合わせていないので、確認し後日回答する。

【委員】

ばい煙排出量の表に環境基準が示してあるが、当該施設に法規制値の定めはないか。

【委員】

環境基準とは煙突から拡散した後の敷地外の数値になるので、ここは排出基準を示すべきではないか。

【大阪新薬株】

確認し、後日回答する。

【委員】

ホームページを見ると ISO-14001 の認証を受けているとあるが、今回の資料にはそれに基づいた運用が記載されていない。ISO-14001 に基づく環境保全を運用していく予定はないのか。

**【大阪新薬株】**

基本的には ISO-14001、環境ポリシーにのっとって進めていく。

(4) 農薬原体新プラント新設について、日産化学株 小野田工場より説明。

●質疑応答

**【委員】**

オーバーフロー水がバッファのように扱われているが、これはそもそも何か。

**【日産化学株 小野田工場】**

元々、工場に受け入れる水量を確保したいということで、オーバーフロー水を確保している。工業用水である。

**【委員】**

騒音・振動の予測レベルは昼間の記載しかないが、夜間も同じ値か。

**【日産化学株 小野田工場】**

同じである。

**【委員】**

最大着地濃度出現距離の計算式は、単位がm=mになっていないのではないか。

**【日産化学株 小野田工場】**

確認し、後日回答する。

(6) エポキシ樹脂工場増設に伴う環境保全対策について、日本化薬株 厚狭工場より説明。

●質疑応答

**【委員】**

排水処理フローシートにある逆洗沈殿槽に入った水の行き先はどうか。

【日本化薬株 厚狭工場】  
産業廃棄物として処理する。

午後4時10分 審議会終了